科目名	ふじのくに学（お茶）（Fujinokuni Studies（O-CHA））				
開講時期	2022 度 前期	開講時限	集中講義	単位数	2
科目責任者	＊中村順行				
担当教員	＊ステファン・ダントン　他				
授業目標	集中講義と野外実習により、多様な視点からお茶を総合的に学習し、お茶を通じて地域に愛着や誇りを持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。				
授業概要	農学、作物学、生産から加工・流通までの多様な視点からお茶を総合的に学習する。				
授業方法	集中講義・フィールドワーク				
授業展開	９月５、６、７、８日の 4 日間を予定（内容については、今後、変更する場合があります） 第 1 日　ふじのくに茶の都ミュージアム １　講義「茶学概論」 ２　ふじのくに茶の都ミュージアム館内見学・抹茶体験 ３　グループワーク「これからのお茶の可能性を考える」 第 2 日　川根本町 ４　実習：茶摘み、茶刈体験、茶工場見学 ５　講義「川根の茶業と生活、文化について」 ６　お茶の淹れ方講座／闘茶体験 第 3 日　静岡市中心街 ７　講義「平地のお茶の生産・加工」 ８　講義「静岡茶の流通～過去から現在、そして未来へ～」 ９　講義「お茶の価値を高めるマーケティング」 10　静岡市街のお茶関連商品提供店舗の散策 第 4 日　静岡県立大学 11　講義「茶の機能と多用途利用」 12　講義「外国人から見た日本茶」 13.14　グループワーク「静岡の茶業が活性化するための展開の仕方」 15　全体総括				
履修条件	全学共通科目の「茶学入門」と一部重複するため、「茶学入門」履修者の単位認定はしない。受講は可能。全日程出席を必要とする。				
評価方法	レポート等に基づき判断する。				
テキスト	必要に応じて、プリントを配布する。	参考書			
備考	ふじのくに地域・大学コンソーシアム単位互換協定校及び、南大阪地域大学コンソーシアム広域単位互換協定校の学生を対象とする。定員 50 名程度。 「茶学入門」未履修者を優先する。 学生負担金として、借上バス代、宿泊費等を徴収する。 また、集合場所までの交通費、昼食代については、参加者負担とする。 講師の中村順行特任教授は静岡県職員として、茶業の振興計画等に携わって経験を踏まえて講義を行い、ステファン・ダントン氏は、茶商としてのマーケティングの実践的な考え方について講義を行う。				
社会人聴講生　原則聴講不可		科目等履修生　履修不可			